

Le Semeur

【ルスメール】＝種をまく人
【教育相談】の種をまく人でありたい
こどもの心に【愛の種】をまきたい
自分の心に【ゆとりの種】をまきたい

日本学校教育相談学会山梨県支部 会報
発行 2020年度 No.3 10月17日
発行者 山梨県支部事務局
住所 北杜市長坂町中丸4333-16

令和2年度 第4回研修会の概要

令和2年10月17日(土)午後2時から、韮崎市民交流センター「ニコリ」にて第4回研修会を実施しました。今回は「ゲーム障害と、その対応のヒント」として、山梨県立北病院の山下徹先生よりご講義をいただきました。

1 研修会テーマ

「ゲーム障害と、その対応のヒント」

2 研修会内容

- ① 家庭のゲーム/ネット事情は？
 - ・大人側も今昔を振り返ってみましょう
 - ・子どもたちはどんなゲームをしているのでしょうか？
 - ・子どもたちのゲームの時間は？
 - ・保護者側のゲーム/ネットの状況は？
 - ・ゲームの“9年間”の累計時間は…
- ② ゲームをめぐる環境の変遷
 - ・昔と今と、ゲームの違いは？
 - ・現実世界とゲームの違いは？
 - ・ゲームを作る大人側の事情は？
- ③ 病気としてのゲーム障害について
 - ・“ゲーム障害”というものについて
 - ・ゲームにはまるとまずい！
 - ・「ゲームで頭がバカになる」!?
 - ・海外、国内の様子について
- ④ ゲーム/ネット問題をどうできるか？
 - ・ゲーム/ネットの時間を考えるヒント
 - ・家庭/学校では、予防が大事
 - ・日中の活動をどうできるか

3 参加者の感想（アンケートより） *14名参加

・現在直面している大きな課題の一つです。親たちもスマホを手放せなくなっている現代社会で子どもたちにネットをコントロールする力をつけさせることは、とても難しいと感じています。しかし学校が様々な情報を発信したり伝えたりしながら家庭と一緒に子どもを育てていかなければと感じました。

・子どもがゲームを通して得られる「達成感」「特別感」「連帯感」「承認欲求」を現実世界で得られるようにするにはどうしたらよいのか、学校（子どもを含め）、家庭、社会、で考えていかなければならないと思いました。

- ・「日中の活動」と「ゲーム」のバランスというところに興味深く思いました。子ども（児童）の活動のあり方について考えさせられました。
- ・先生の臨床からの知見が良かった。ゲーム依存と生物学的質、年代ごとの就業との関連、視点目新しく、とても勉強になりました。
- ・自分の子どもが、コロナ休業中に一気にゲームにはまったこともあり、どんな子どもも「ゲーム障害」になる可能性があると感じています。地域・社会で早急に取り組まなければならない問題で学校現場でも何らかの対応が必要だろうと改めて思いました。ありがとうございました。
- ・山下先生のお話もよかったです。参加した先生方の質問、意見も大変ためになりました。あっという間の2時間でした。どうもありがとうございました。
- ・子どもや家庭に今後どのように働きかけるべきか参考になった。自分自身のゲームネットの使用についても考える時間になった。
- ・ICTの時代なので有効活用をすればよいが、歯止めがきかない子どもたちの対策について改めて考えた。ゲーム依存にさせない予防的指導が必要。本人の居場所をつくる。学校が楽しいと思う学校づくりをする。保護者との連携が必要である。学校、家庭、医療との連携
- ・やはり具体的な手立ては教員が工夫するしかないと感じた。
- ・今後ますます大きな問題になっていくことは間違いないので良い機会であった。この先は学校の役割や具体的な手立てについて研修の中で考えていきたい。
- ・ゲーム依存への対応についてさらにお聞きできるとありがたい。
- ・ゲーム障害について、多くの問題があることが理解できました。ゲーム/ネットの時間について考えるうえで、家庭、学校、社会が共通理解（障害・使用ルール・不登校・依存症）することが必要である気がしました。
- ・ゲーム障害の深刻さを改めて知ることができました。学校現場と家庭が協力して「予防」に取り組んでいきたいと思えます。
- ・親とのかかわりが大事だということ、日中の活動の大切さがわかりました。

初めて参加された教員、スクールカウンセラーの皆様にも大変好評をいただいた研修会になりました。

○次回研修会

次回研修会は11月28日（土）10:00~12:00、会場「ニコリ」にて「スクールソーシャルワークの考え方進め方」として、依田勝芳先生よりご講演いただきます。SSWとの連携の在り方について学べる良い機会です。ふるってご参加ください。会場の関係で午前中の実施となります。いつもと時間が異なりますので、ご注意ください。

○学校教育相談基礎講座

山梨県支部では、学校教育相談基礎講座として、年間7回の研修会を計画しています。将来、学校カウンセラーの資格を取得したい方、基礎的な知識や手法を身に付け、生徒指導や学級経営に生かしたい方などは是非ご参加ください。詳しいことについては、日本学校教育相談学会山梨県支部のHPをご覧ください。

○入会申し込みについて

当学会への入会資格は数年前に全て撤廃され、興味のある方ならどなたでも入会できるようになりました。研修会の様子を見たい方は、事務局の佐藤までご連絡ください。